



# ゆのはな

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現  
～Be true to Rehabilitation～

第15号  
2020年7月  
BRCだより

## ごあいさつ



病院長 青野 只明

令和2年は、新型コロナウイルス世界的大流行の年となり、歴史的にも一生忘れることができない年になってしまいました。

オリンピックやプロスポーツ・インターハイ・甲子園などをはじめ様々なスポーツ・文化的行事も延期・中止となっています。この原稿を執筆しているのは5月末ですが、発行時にはまた流行状況など社会情勢が変わっているかもしれません。

いまだ完全な治療法のない感染症ですが、他人と関わることなく自給自足をすれば罹ることはないでしょう。しかし、私たちが従事する医療・介護・福祉の分野は他人との関わりを基本として成り立っていますし、私生活においても完全に他人と接しないことなど現実的に

不可能です。ただ、4月に緊急事態宣言発令による不要不急の外出自粛要請などで、正しく恐れることで流行拡大が確実に抑制されることを体験できたことは大きな収穫であったと思います。同時に、どうしても協力いただけない方たちがいるということもわかり残念でなりませんでした。

今回のウイルスの恐怖は何といっても、無症状感染者の存在や会話程度で容易に感染し、有名人の志村けんさん・岡江久美子さんらのように、数日程度で急激に呼吸不全に陥り、そのまま帰らぬ運命になる可能性がすべての人に等しくあるということだと思います。その場合は人生を振り返る時間的余裕など与えてくれません。

日々「人生とは何か？」「本当に大切なものは何か？」を考えさせられ、身近な人へのメッセージを準備しておかねばならないと思い知らされるほどです。「今やっていることは本当に必要で意味のあることなのか？」「取るに足らない価値観で行動してはいないだろうか？」「明日死んだとしても充実した人生

だったといえるだろうか？」と毎日自問自答しつつ、かといって刹那的に生きるでもなく、一日一日を納得して精一杯生きる、地位や名誉や財なども関係ない、ただ目の前のことをできる範囲で一生懸命やる、それしかないと思いつく気がかされている今日この頃です。

職員一同、新型コロナウイルスによって、「人生何が大切で、いかに生きるべきか」を考える機会を与えられたとプラスに受け止め、同時に自然界にも眼をむけることができる心の余裕ももちながら、患者さんに対して、また職員同士においてもこれまで以上に真摯な態度で業務に従事し、みんなで助け合い、充実した一日一日を送ることができますよう、これからも一生懸命努力してまいります。

最後に感染拡大防止のため長期間にわたり面会制限などにご協力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。感染拡大が収まり、争いなどのない、みんなで助け合える平和な世の中が早く訪れますように。



# 別府リハビリテーションセンター 外来リハビリテーションのご案内

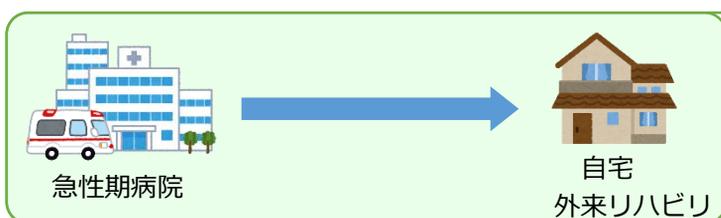


～ 外来リハビリテーションのスタッフは、みなさまの「よりよい生活」を支援いたします ～

## 【急性期病院や回復期リハビリ病院での入院治療後、退院された方】



- 脳卒中の治療後および大腿骨や背骨等の手術を受け、回復期リハビリテーション病棟を退院された方（原則退院後3か月間の実施）
- 当院回復期リハビリテーション病棟入院中に自動車運転評価を実施された方で、退院後も自動車評価の継続が必要な方



- 脳卒中等の治療後、直接自宅へ退院された方で日常生活においてお困りの方
- 整形外科の手術後で、手足の動きを改善されたい方

## 【日常動作・コミュニケーションなど、生活するうえで困っておられる方】

**社会生活**  
高次脳機能障がい

**日常動作**  
立つ・歩く・握る など

**コミュニケーション**  
話す・聴く・読む・書く

**食べる・飲み込む など**

- 難病（パーキンソン病など）で、体の動きが悪くなり、リハビリを希望される方
- 脳卒中後や生まれつきの病気などによる手足のつっぱりを和らげたい方、また痛みがある方
- 脳卒中後や生まれつきの病気などで、手の動かしにくさを感じておられる方
- 装具を持っているが合わなくなった、壊れて困っているが相談窓口がなくお困りの方
- 食べ物の飲み込み状態が悪くなり、検査・リハビリを希望される方
- 入院治療を終えて自宅に退院後、家族、学校、職場でのコミュニケーションにお困りの方
- 病気や事故後、できていたことができなくなった、社会生活でトラブルが続く等の悩みがある方・そのご家族

病気後の在宅生活の中で  
**困った!**をサポートします

### < お問い合わせ >

社会福祉法人 農協共済

別府リハビリテーションセンター

◆ 外来リハビリテーション 担当 林・神河

◆ 高次脳機能障害窓口 担当 安藤

TEL : 0977-67-1711



# 令和2年度 新採用職員研修会を開催しました



敷地内に見事に咲きほころぶ満開の桜を背景にパチリ！お天気にも恵まれました。

## 新採用職員を宜しくお願いたします！

本年度新採用職員研修会を開催しました。本年度は世界的流行となった新型コロナウイルス感染症の影響により、研修カリキュラムを見直し、3密にならない環境設定として、①毎日2回の職員症候性サーベイランス、②入室退室の際の手指消毒、③ソ-

シャルディスタンス、④定期的な換気、⑤マスク装着など、万全な体制を整え、また時間も短縮して実施しました。

「感染症対策により、グループワークができないことが少し残念でしたが、楽しく学びました」という感想も聞かれました。今後も一緒に学びましょう！



## 倫理研修「利用者の権利」

倫理研修の一コマです。職場の中で必要な職業倫理や当法人の定める「利用者みなさまの権利宣言」および各職種の倫理綱領について学びました。多職種の倫理綱領を理解する貴重な時間になりました。

## 防護衣の着脱手順

感染対策として、必要に応じて防護衣の着用が求められます。今回は、スムーズに着脱できるようにポイントを学びました。

特に防護衣を脱ぐ際の手技は汚染拡大防止の意味からも重要です。講師の感染管理認定看護師は重要なポイントについて、説明を加えながら着脱手順を実演し説明しました。

参加者の新採用職員は、真剣な眼差しで着脱手順について学んでいました。



## 標準予防策の基本である手指衛生実習の場面

あらかじめ、専用のクリームを均一に手の表面に伸ばします。その後、石鹸を使って、十分に洗い流します。洗い残し部分があると、ブラックライトに反応し青白く光り示します。どこに「洗い残し」ができ易いのか、視覚的に理解することができます。手洗いは感染管理の基本であり、とても大切な、誰でもできる対策のひとつです。



## 新着任医師のご紹介

本年度4月、別府リハビリテーションセンターに赴任しました。  
 出身は別府市で、大分市の岩田高校から産業医科大学医学部に入学し、卒業後は同大学脳神経内科に入局、現在までに鳥取の山陰労災病院、北九州市の門司メディカルセンター、産業医科大学若松病院、産業医科大学病院で勤務してきました。  
 専門は神経難病(特にパーキンソン病)と認知症で、当センターに赴任する前の3年間は、産業医科大学病院認知症センターで認知症診療に従事しておりました。

認知症診療においては、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・リハスタッフ・薬剤師・管理栄養士・地域包括支援センター・ケアマネージャーなど多職種連携が重要です。従来のリハビリ医療では、リハビリ医師に依頼して、実際のリハビリ内容や患者さんが取り組んでいる姿を見ることはほとんどありませんでしたが、別府リハビリテーションセンターでは、チーム医療が行われ、各職種の方が患者さんと密接に関わりを持ち、医療・看護・介護・リハビリテーション・栄養管理などに組み込まれているのを見て驚きました。

診療部 医師  
**武井 崇展** (たけいたかのぶ)



今後は、リハビリチームの一員として、患者さんの社会復帰に向けお役に立てるよう取り組んでいくとともに患者さんが頑張っている姿を可能な限り見たいと思います。

## 入退院支援看護師をご紹介します



法人では地域連携室に、入退院支援看護師2名を配属しています。入院支援では入院相談に関する対応、患者・ご家族の安心、スムーズな入院の受入れを目的とした紹介元への入院前訪問を実施しています。また、退院支援においては入院初日より介入を行い、課題のアセスメント

を行ったうえでチームの一員として在宅生活、社会復帰へ向けた支援をおこなっています。入院してこられるすべての患者・ご家族に「ここに入院して良かった。」と思っていただけるよう、関わっていききたいと思います。  
 (右)高月看護師、(左)福永看護師

## 日本医療機能評価機構認定更新および高度・専門機能認定を受けました

法人回復期リハビリテーション病棟は(公財)日本医療機能評価機構「病院機能評価リハビリテーション病院 機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0」「病院機能評価(高度・専門機能)リハビリテーション(回復期)Ver.1.0」を2019年12月に受審、2020年4月に認定を受けました。「リハビリテーション病院」の認定は4回

目、さらに日本医療機能評価機構が2019年10月より新たな評価事業として開始した「病院機能評価(高度・専門機能)リハビリテーション(回復期)」の認定病院としては、全国で2番目となります。今回の認定を契機として、さらなる質の高いリハビリテーション、サービスの充実に努めてまいります。(右)青野病院長、(左)伊藤副院長



## 社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価機構認定 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設 / 日本脳卒中学会認定研修教育病院

